

日刊 労働千葉

85. 11. 5

No. 2081

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電二五三五ノ六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

一人ひとりが活動家となつて11月ストへ (1926) 館山支部大会



十月二十六日、館山支部は第九回定期大会を開催し、分割・民営化一十万人合理化に対し、十一月末ストライキを突破口に実力決起で粉碎しぬく方針を満場一致で決定した。

職場生産点から怒りを
もえたたせ十一月ストへ
――笹生支部長あいさつ――

大会は、六〇名の代議員・傍聴者が出席するなかではじまり、議長に選出された富川氏は、「組合員の団結が問われている。ストに向けて更なる団結が必要である」とのあいさつを行った。

つづいて、笹生支部長がたち、「監理委員会の答申後、国鉄当局がこれを突破口に攻撃をしかけてきている。このことは、ワッペン、スト処分に使われている。

館山においても、カーテン・ワッペン、区長面接・乗務停止等々の攻撃をかけてきており、館山支部組合員は、一人一人が活動家になり、職場生産点から闘いぬこう」と、力のこもった怒りに燃えたあいさつを行った。

つづいて、来賓である、本部・水野副委員長は、七月二十六日の監理委答申のたためさ、また、国鉄当局の出した「今後の要員体制の考え方について」の中味について暴

露した。

大会は、塩崎書記長から経過報告・方針について提起をうけ、質疑討論にうつった。

十一月ストを最先頭で闘うぞ

出された意見は、①カーテン問題について、今まで木更津・千葉間であったのが全区間対象になった 組合としての対処方はどうか ②スト被処分者に対してどうやって守って闘いぬいていくのか、また、財政的にはどうなっていくのか

③名札問題についてはどうなっているのか ④組合員に対する五段階評価は許せない ⑤10・20三里塚集会には緊張した。等々である。

これに対して笹生支部長から答弁が行われ、「一人一人が活動家となり、一人一人が当局と対決し、一人一人がストライキにむかつて団結し、闘いぬくことが重要である」と訴えた。

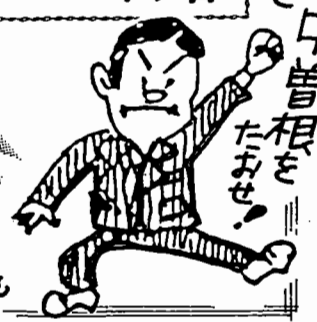
大会は、経過と方針を圧倒的拍手で確認し、十一月末ストライキを最先頭で闘う決意を打ち固め、最後に支部長の音頭で団結ガンバローを三唱して成功裡に終了した。

30万国鉄労働者は ストライキで 10万人首切りを 粉碎せよ

11.17集会をストライキ
突入宣言の場とし、
11月末ストライキへ
進撃する

全国鉄労働者総決起集会

11月17日(日)正午
日比谷野外音楽堂(集会后 国鉄本社抗議デモ)
主催 国鉄千葉動力車労働組合



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!